

平成29年1月期経営状況概要

(単位：千円)

項目	予算額 (繰越含む)	当月執行額	執行累計額	執行率	執行残高	執行+支出負担	対予算比
<b>8. 水道事業収益</b>	<b>2,727,099</b>	<b>187,141</b>	<b>1,986,091</b>	<b>72.8%</b>	<b>741,008</b>		
1. 営業収益	2,302,614	183,193	1,942,284	84.4%	360,330		
1. 給水収益	2,271,024	182,798	1,911,275	84.2%	359,749		
2. 受託工事収益							
3. その他営業収益	31,590	395	31,009	98.2%	581		
2. 営業外収益	424,102	3,948	42,218	10.0%	381,884		
3. 特別利益	383		1,590	415.1%	△ 1,207		
<b>9. 水道事業費用</b>	<b>2,519,865</b>	<b>80,185</b>	<b>851,153</b>	<b>33.8%</b>	<b>1,668,712</b>	<b>1,013,298</b>	<b>40.2%</b>
1. 営業費用	2,253,744	80,165	731,502	32.5%	1,522,242	893,560	39.6%
1. 原水及び浄水費	467,770	31,125	281,250	60.1%	186,520	343,782	73.5%
2. 配水費	292,371	22,467	186,532	63.8%	105,839	209,957	71.8%
3. 給水費	106,460	7,316	63,409	59.6%	43,051	72,879	68.5%
4. 受託工事費							
5. 業務費	161,802	12,948	121,488	75.1%	40,314	157,681	97.5%
6. 総係費	139,605	6,310	78,824	56.5%	60,781	109,260	78.3%
8. 減価償却費	1,035,636				1,035,636		
9. 資産減耗費	50,100				50,100		
10. その他営業費用							
2. 営業外費用	244,316		119,238	48.8%	125,078	119,238	48.8%
3. 特別損失	1,805	19	413	22.9%	1,392	500	27.7%
4. 予備費	20,000				20,000		
<b>10. 資本的収入 (繰越含む)</b>	<b>2,640,209</b>	<b>2,020</b>	<b>339,589</b>	<b>12.9%</b>	<b>2,300,620</b>		
1. 企業債	1,414,300		55,000	3.9%	1,359,300		
2. 負担金・補償金	290,301	346	261,295	90.0%	29,006		
3. 補助金	347,554				347,554		
4. 出資金	576,002		11,500	2.0%	564,502		
5. 加入金	12,052	1,674	11,794	97.9%	258		
9. その他資本的収入							
<b>11. 資本的支出 (繰越含む)</b>	<b>3,884,640</b>	<b>75,138</b>	<b>673,189</b>	<b>17.3%</b>	<b>3,211,451</b>	<b>3,005,821</b>	<b>77.4%</b>
1. 建設改良費	3,229,592	75,138	348,784	10.8%	2,880,808	2,681,416	83.0%
1. 取水施設整備費	1,118,656		4,698	0.4%	1,113,958	1,004,670	89.8%
2. 導水施設整備費	216,540				216,540	150,484	69.5%
3. 浄水施設整備費	109,129		26,687	24.5%	82,442	87,199	79.9%
4. 送水施設整備費	481,140	69,156	69,156	14.4%	411,984	476,783	99.1%
5. 配給水施設整備費	1,301,103	5,983	248,244	19.1%	1,052,859	959,471	73.7%
6. 消防設備整備費	3,024				3,024	2,808	92.9%
2. 企業債償還金	655,048		324,405	49.5%	330,643	324,405	49.5%
<b>12. たな卸し資産購入限度額</b>	<b>57,365</b>	<b>1,156</b>	<b>17,134</b>	<b>29.9%</b>	<b>40,231</b>	<b>31,821</b>	<b>55.5%</b>
①有収水量	8,000,000	632,869	6,663,561	83.3%	1,336,439		
②供給単価	283.88	288.84	286.82	101.0%	△ 2.95		
③給水原価	258.40	126.67	127.67	49.4%	130.73		
<b>人件費</b>	<b>249,195</b>	<b>40,729</b>	<b>199,662</b>	<b>80.1%</b>	<b>49,533</b>		
1. 収益的収支	210,173	33,365	165,117	78.6%	45,056		
1. 職員給与費	208,114	33,072	163,097	78.4%	45,017		
2. 特別職 (報酬、賃金等)	2,059	293	2,020	98.1%	39		
2. 資本的収支	39,022	7,365	34,545	88.5%	4,477		
<b>* 職員給与費</b>	<b>247,136</b>	<b>40,436</b>	<b>197,642</b>	<b>80.0%</b>	<b>49,494</b>		
職員給与費対給水収益							
1. 損益勘定職員	9.2%	18.1%	8.5%				
2. 全職員	10.9%	22.1%	10.3%				

合計残高試算表	A期首	B当月	C=B-A	備考
<b>A. 固定資産</b>	<b>43,059,091</b>	<b>43,384,602</b>	<b>325,511</b>	
*減価償却累計額	18,174,387	18,174,387		
<b>B. 流動資産</b>	<b>3,658,830</b>	<b>3,693,103</b>	<b>34,274</b>	
1. 現金預金	2,796,809	2,106,442	△ 690,367	
2. 未収金	820,666	462,064	△ 358,602	
3. 貸倒引当金	△ 500	△ 500		
4. 貯蔵品	33,973	30,679	△ 3,294	
5. 前払費用・前払金	190	1,026,865	1,026,675	工事前払金等
6. その他		67,053	67,053	仮払消費税
<b>D. 水道事業費用</b>		<b>808,642</b>	<b>808,642</b>	
1. 営業費用		689,021	689,021	
2. 営業外費用		119,238	119,238	
3. 特別損失		383	383	
<b>1. 借方合計=A+B+D</b>	<b>50,118,489</b>	<b>51,286,915</b>	<b>1,168,426</b>	
<b>E. 固定負債</b>	<b>11,281,820</b>	<b>11,336,820</b>	<b>55,000</b>	
1. 企業債	10,994,615	11,049,615	55,000	
2. 引当金	287,205	287,205		
<b>F. 流動負債</b>	<b>1,547,494</b>	<b>535,682</b>	<b>△ 1,011,811</b>	
1. 企業債	655,044	330,639	△ 324,405	H28年度償還元金
2. 未払金	825,284	16,194	△ 809,090	
3. 前受金	112	71	△ 41	
4. 引当金	55,109	28,768	△ 26,341	* 賞与引当金・修繕引当金
5. 資本的収入整理勘定				
6. その他	11,945	160,011	148,066	
うち仮受消費税		145,377	145,377	
<b>G. 繰延収益</b>	<b>9,443,211</b>	<b>9,715,366</b>	<b>272,155</b>	
1. 長期前受金	9,443,211	9,715,366	272,155	償却資産に係る財源のうち、補助金、補償金・負担金・受贈財産等
* // 収益化累計額	3,400,567	3,400,567		
<b>H. 資本金</b>	<b>9,340,661</b>	<b>9,659,677</b>	<b>319,016</b>	
1. 自己資本金	9,340,661	9,659,677	319,016	* 固有、繰入 (出資)、組入
2. 借入資本金				= 企業債元金 → 負債勘定へ
<b>J. 剰余金</b>	<b>330,417</b>	<b>22,900</b>	<b>△ 307,517</b>	
1. 資本剰余金	22,900	22,900		* 非償却資産にかかるもの
2. 利益剰余金	307,517		△ 307,517	
<b>K. 水道事業収益</b>		<b>1,841,583</b>	<b>1,841,583</b>	
1. 営業収益		1,800,708	1,800,708	
2. 営業外収益		39,321	39,321	
3. 特別利益		1,555	1,555	
<b>2. 貸方合計=E+F+G+J+K</b>	<b>50,118,489</b>	<b>51,286,915</b>	<b>1,168,426</b>	

a. 供給単価 (円、銭)	265.58	= 給水収益 ÷ 有収水量	
b. 給水原価 (円、銭)		原価算入額は受託工事収益、材料売却原価、特別損失を除く	
①実数値	121.30	= 原価算入額 ÷ 有収水量	当月予算
②シミュレーション	263.47	原価算入額に減価償却費の「経過月数/12」を加えたもの	
c. 施設利用率	76.36%	= 一日平均配水量 ÷ 施設能力	
d. 有収率	83.66%	= 有収水量 ÷ 配水量	
e. 流動比率	689.33%	= 流動資産 ÷ 流動負債	
f. 現金預金比率	393.23%	= 現金預金 ÷ 流動負債	

\* 供給単価、給水原価は損益ベースであること

平成29年 1 月期 業務実績報告書(水道管理課)

一 般 事 項

1 料金調定関係

項 目	単 位	A 当 月 期	B 当 年 度 累 計	C 計 画 累 計	D 前 年 度 同 月 累 計	E 対 計 画 比 較	F 対 前 年 比 較
1 調定件数	件	30,305	306,419	308,180	305,783	△1,761	636
2 調定水量	m <sup>3</sup>	628,625	6,617,410	6,773,600	6,750,973	△156,190	△133,563
3 調定料金(税抜)	円	169,257,497	1,769,699,012	1,782,100,000	1,787,274,170	△12,400,988	△17,575,158
4 口振加入件数	件	25,124	253,967	-	254,673	-	△706

2 給水業務関係

項 目	単 位	A 当 月 期	B 当 年 度 累 計	C 前 年 度 同 月 累 計	D 対 前 年 比 較 (B-C)
5 給水人口	人	81,711	-	82,481	△ 770
6 給水件数	件	30,185	-	30,154	31
7 開栓処理件数	件	158	2,517	2,231	286
8 閉栓処理件数	件	172	2,635	2,333	302
9 給水工事設計審査	件	28	578	571	7
10 給水工事竣工検査	件	54	803	719	84
11 経年メーター交換	件	505	3,607	1,817	1,790
12 メーター口径変更	件	2	48	22	26
13 月末停止件数	件	△ 1	74	73	1

3 料金徴収関係

項 目	A 当 月 末 未 収 額		B 収 納 率		C 前 年 同 期 未 収 額		D 収 納 率	
14 当年度分	193,417,739	円	89.88	%	198,078,393	円	89.74	%
15 過年度分	4,476,354	円	97.69	%	4,528,607	円	97.57	%
16 全 体 (計)	197,894,093	円	-		202,607,000	円	-	

4 給水装置工事指定業者(市内1社 廃止)

迫町	登米町	中田町	豊里町	米山町	南方町	津山町	東和町	石越町	市内計	市外計	合計
18	8	16	12	13	9	8	14	7	105	117	222

5 入札・契約

(左:累計 右:当月)

項目	累計(落札件数/入札件数)		工事請負		設計業務		業務委託		物品購入		その他	
入札件数	111/114	9/9	72/75	4/4	13/13	2/2	8/8	3/3	17/17	0/0	1/1	0/0
契約締結	一般	27	1	27	1	0	0	0	0	0	0	0
	指名	51	2	32	1	6	1	1	0	12	0	0
	随契	32	5	12	1	7	1	7	3	5	0	1
合計	110	8	71	3	13	2	8	3	17	0	1	0

※入札中止 当月 0件:累計2件/入札不調 当月 0件:累計 3/入札取消 当月 0件:累計 0件/未契約 0件

6 竣工等検査

検査種類	累 計	当 月 件 数	内 容
竣工検査	25	3	工事
中間検査	22	4	工事
合 計	47	7	

7 主な行事・会議

会 議 名	日 時	内 容
部長等連絡調整会議	5日	1月 事業打合せ等
事業調整会議	6日	第10回 部長等連絡調整会議復命、日程調整
水道事業連絡会議	11日	第10回 業務報告、日程確認、業務打合せ等
安全衛生委員会	10日	第10回 行事計画、日程調整等
水道ブースター会議	25日	1月期 「水質情報、水処理薬品について」
給水拠点設置訓練	20日	第10回 石越総合支所
経営分析会議	24日	12月期 各種経営分析等
例月出納検査	26日	12月分 例月出納現金検査
指名委員会	18、31日	第29、30回
入札	12、27日	6件、3件
緊急メールの発出	-日	漏水8、破損1、配信訓練1、取水停止2、断水情報1

特 記 事 項

1. 1月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

ア 収益的収支

当期の給水収益は182,798千円(税込)で、前月期に比べて849千円の増で、予算執行率(累計)は84.2%(前年度85.4%)、対前年同月比(税抜)では3,896千円の減となっています。営業収益は手数料収益395円を含む183,193千円、営業外収益は補償金249千円、事務手数料3,700千円を含む3,948千円となりました。

当期の営業費用は80,165千円を執行し、累計額は731,502千円、予算執行率(累計)は32.4%(前年度33.0%)となりました。特別損失として放射性物質検査料19千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、工事負担金346千円、加入金1,674千円を執行し累計で2,020千円となり、執行率(累計)は10.6%(前年度0.6%)でした。

支出は、送水施設整備費に69,156千円、配給水工事請負費に734千円、給水メータ整備費に2,714千円、事務費に2,534千円を執行し、累計では537,372千円となり、執行率(累計)は14.3%(前年度12.4%)でした。

ウ たな卸し資産購入限度額

当期は、薬品に1,156千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 上水道事業運営審議会を開催(1月23日)

平成28年第2回登米市上水道事業運営審議会を1月23日(月)に開催しました。今回の審議事項は、「①登米市水道事業の経営状況と業務報告について、②登米市水道ビジョン実施計画について、③平成29年度登米市水道事業会計予算(案)について、④主要建設改良事業の進捗状況について」の4件でした。

なお、予算については市長からの諮問事項となっていることから、委員による審議の結果、妥当であり、「事業については計画に従い遅滞なく進めること、市民及び議会への説明を行うこと」の留意事項を付した答申をいただきました。



上水道事業運営審議会

(2) 職員採用試験を実施(1月29日)

水道事業所として初めての試みとなる登米市水道事業職員(社会人経験者)採用試験を1月29日(日)に実施しました。10名の応募者があり、論文試験と面接試験を行いました。

なお、合格発表は2月10日(金)で2名程度の採用を予定しています。

(3) 水道モニター会議を開催(1月24日)

平成28年度第3回水道モニター会議を1月24日(火)に開催しました。今回の会議は、毎年行っているアンケート調査の依頼と調査方法についての説明を行いました。アンケートの内容は「水道の水質について」「水道料金について」等です。20名のモニターさんを通じて、それぞれ近隣の10名の市民の方々にアンケートを行い、合計200名からの回答をいただく予定です。なお、この結果については、モニターさんをはじめ、市民の皆さんへ広くお知らせします。



モニター会議

(4) 指定給水装置工事事業者会議を開催(1月19日)

今年度の登米市指定給水装置工事事業者会議を1月19日(木)に登米祝祭劇場を会場に開催しました。市内外から130名の出席があり、「①給水装置工事施工要領について、②給水申し込みに係る新設配水管布設協議について、③事業者の違反行為に係る事務処理要領について」説明を行いました。

(5) 安全運転者研修会開催(1月18日)

毎年開催している安全運転者研修会を今年も1月18日(水)に安全衛生委員会主催で開催しました。登米警察署の花田交通課長を講師に迎えて管内での事故発生状況等についての講話をいただきました。研修会当日は全職員と業務受託者あわせて30名が受講しました。

(6) 水道技術管理者資格取得講習会実務研修者(2人目)受入れ(1月16日~2月3日)

今年度2人目となる水道技術管理者取得講習会実務研修者を1月16日(月)から受入れました。今回は、南三陸町上下水道課の職員で2月3日までの実務研修を行います。

# 平成29年 1月期 業務実績報告書 ( 水道施設課 )

## 一 般 事 項

### 経営分析の状況

#### ◎配水量の状況

(単位: m<sup>3</sup>)

項 目	A 当月実績	B 実績累計	C 計画累計	D 前年累計	E 比 較	
					対計画 B-C	対前年度 B-D
総取水量	826,848	8,324,428	8,321,660	8,389,979	2,768	△65,551
総配水量	793,485	7,965,382	8,004,810	7,978,899	△39,418	△13,507
1 有効水量	699,734	7,181,563	7,325,550	7,318,444	△143,987	△136,881
(1)有収水量	632,869	6,663,561	6,815,900	6,793,527	△152,339	△129,966
(2)無収水量	66,865	518,002	509,650	524,917	8,352	△6,915
2 無効水量	93,751	783,829	679,260	660,455	104,569	123,374
(1)漏水量	93,618	778,557	672,000	652,904	106,557	125,653
(2)その他無効水量	133	5,272	7,260	7,551	△1,988	△2,279
3 有収率	79.76	83.66	85.15	85.14	△1.49	△1.48

※当月期の最大配水量は、1月18日(水)に記録した【27,252m<sup>3</sup>】です。

#### ◎主要な建設改良事業の状況

(単位: 件・千円)

主要な建設改良事業等の状況	予 算 額 (A)		施 工 中 額 (B)		竣 工 額 (C)		残 額 (D)=A-(B+C)	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	金 額	率%
ア 取水施設整備事業	4	1,118,656	3	999,972	1	4,698	113,986	89.8%
イ 導水施設整備事業	2	216,540	2	205,308	0	0	11,232	94.8%
ウ 浄水施設整備事業	14	109,129	6	60,512	8	26,687	21,930	79.9%
エ 送水管整備事業	6	481,140	5	408,844	1	69,156	3,140	99.3%
オ 配給水施設整備事業	71	1,165,720	37	711,228	11	112,427	342,066	70.7%

\*注1 件数及び金額は工事+委託(事務費・人権費含む)の合計です。

#### ◎毎日検査

※おいしい水の目安 遊離残留塩素0.4mg/L以下

	保呂羽浄水場	保呂羽浄水場水系	東和町水系	石越町水系	大萱沢浄水場水系
	F1遊離残留塩素	(測定戸数: 7)	(測定戸数: 6)	(測定戸数: 1)	(測定戸数: 2)
平均	0.58	0.40	0.43	0.55	0.49
最低	0.55	0.28	0.20	0.50	0.40
最高	0.62	0.53	0.60	0.60	0.55

#### ◎登米水道の放射性物質測定結果

採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)		採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)	
		セシウム134	セシウム137			セシウム134	セシウム137
保呂羽浄水場	H29.1.23	<0.8	<0.8	米谷水系浄水場	—	—	—
石越浄水場	H29.1.19	<0.8	<0.9	楼台浄水場	—	—	—
大萱沢浄水場	H29.1.20	<0.9	<0.9	合の木浄水場	—	—	—
米川水系浄水場	—	—	—	大綱木浄水場	—	—	—
錦織水系浄水場	H29.1.20	<0.8	<1.0	—	—	—	—

## 特 記 事 項

### 1 下り松取水塔維持管理作業の実施(1月9日~14日)

1月9日から14日まで、安定取水の水深確保を目的として、北上川右岸の下り松取水塔周辺の堆積土砂の排除を行いました。この作業により取水塔の周辺約40mの範囲の河床(水深1.0m)を浚渫(しゅんせつ)船によるポンプ浚渫法で約1,150m<sup>3</sup>の堆積物を排除しました。

また、20日には浄水施設等管理運転業務受託者が北上川堤防(登米大橋から下り松取水塔付近)で清掃作業(ゴミ拾い)を実施しました。

堆積土砂測量状況



浚渫作業状況



清掃作業状況



清掃作業状況



### 2 合ノ木・大綱木浄水場取水口更生作業実施(1月16日)

取水場の土砂堆積による取水口閉塞を防止するため、浄水施設等管理運転業務受託者による取水口清掃作業を実施しました。

清掃前の状況



清掃状況



清掃後の状況



### 3 水道1号線「耐震補強」実施(1月17日、25日)

基幹配水管の漏水防止を目的とし、漏水する可能性が高いダクタイル鋳鉄管接合部にカバージョイントの設置を進めています。

平成28年度は水道1号線(φ600)5箇所を設置予定で、1月期は2箇所の施工が完了しました。対象管路は、昭和51年度に用水供給事業として布設し40年が経過しましたが、設置箇所の管体及び継手に腐食などは確認されませんでした。

漏水する可能性の高い継手部として、曲管・異形管等離脱防止一体型継手部(KF)と接続した非離脱防止継手部(K)が地震等の地盤変動時に影響を受けやすい継手のため補強するものです。

耐震補強前



補強状況



### 4 平成28年度の漏水調査結果について

1月末の漏水調査の結果82件173.61m<sup>3</sup>/h(累計)の漏水を発見しています。計画有収率85%を目標に調査を実施します。

### 5 地震発生状況

平成28年1月22日以来、登米市内における震度4以上の地震は発生していません。

漏水調査結果

施設	件数	漏水量(m <sup>3</sup> /h)
配水管	15	131.04
付属施設	0	0.00
給水管	67	42.57
計	82	173.61